



7月 くれよんクラブ

第52号

発行日：令和5年7月

少しずつ夏が近づき、七夕や水遊び、夏休みなど子どもたちが楽しみにしている季節がやってきますね。暑さ対策をしながら、今月も楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

【7月の目標】

ふ せ ほう し
布施奉仕

～お手伝いをしましょう～



【7月の生まれ】

お誕生日おめでとうございます♪

【7月の予定】

13日(木) 避難訓練
17日(月) 海の日

【7月の職員研修】

北茨城特別支援学校見学

同仁会には年間目標があります。くれよんクラブでは毎月の目標を基に子ども達と関わったり、伝えるようにしています。くれよんクラブで行っている子ども達とのかかわり方を毎月のおたよりで紹介していきたいと思います。

【環境を整えて見守る】

くれよんクラブでは、自分の力に任せるところや、一人ひとりの力に合わせてやりたいことに挑戦出来る環境作りを心掛けています。使いやすい道具を用意することや、危険な物をなくすことも「環境を整える」の一つです。さらにそこに、まわりにいる大人の声掛けや対応が加わると、素敵な環境が整います♪ まずは一人ひとりの今までの動きをじっくり観察することから始め、どこまで援助し見守るかを判断しています。例えば・・・

チャック開閉に挑戦して欲しい

→チャックを左から右に開けるのは得意
リュックをやりやすい向きに置いてみる
⇒環境を整える



私たちが環境設定を日々模索しています。

一人ひとりに合った環境設定を一緒に考えていきましょう♪

見守りのポイント

→手は貸さず、
「自分でやってみるところ素敵だね」など
取り組んだことや
行動しようとした時に褒めて認める
→「左の手でおさえてみようか」など
さりげなくヒントを伝えることで
一人で出来た達成感に繋げる

今月の法人目標「布施奉仕」は、見返りを求めないところがポイント！物事の道理を教える「法施」、物やお金を与える「財施」、安心を与える「無畏施」という3つがあります。何事も与えずぎてしまっは相手の為ならず…学生の時に、「お腹がすいている人に、魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えるのだ」と先生からご指導いただいたことがあります。

上のお話は「法施」にあたるような内容ですね。必要十分で、かつ最小限の「支援」は何か、どこまで見守っていいか、このバランスが難しい…これからもみんなよく話し合っ考えていきたいと思います。



心理士 K